

研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	学内進学入学試験
試験科目 /Exam Subject	専門
実施日（試験日） /Exam Date	2025年7月5日

解答又は解答例及び出題意図  
 Answer or example of answer  
 Intent of the question  
 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)  
 (Reasons for not publishing exam questions)

**【心理学共通】**

1. 解答又は解答例

**【A】**

(1)	3.	(2)	2.	(3)	2.	(4)	2.	(5)	3.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(6)	2.	(7)	3.	(8)	1.	(9)	2.	(10)	2.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----

(11)	4.	(12)	3.	(13)	2.	(14)	3.	(15)	4.
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

**【B】**

出題	解答例
多義図形	2つ以上の知覚的解釈を生じさせる図形のこと、一時に1つの解釈しか成立しないことを特徴とする。ルビンの盃、ネッカーキューブ等がその例として知られる。
処理水準効果	視覚提示された記銘語に対する感覚的な形態処理、刺激を聴覚に変換する音韻処理、知識と連携させた意味処理のように、対象への処理が深まるほど記憶成績が高くなる効果。
言語獲得支援システム	Bruner, J. S.が提唱した概念。大人が子どもに対して行う言語的コミュニケーションは、子どもの言語獲得を容易にする特徴があり、個人の外側に言語獲得を支援するシステムがあると考えた。

内的作業モデル	Bowlby, E. J. M.が提唱した概念。成長に伴い、養育者との愛着関係は子どもの中に内在化され(表象モデル・安全基地)、その後の人生において、他者と関わる際の情報処理の基盤となる。
ソーシャルサポート	家族や友人などのインフォーマルな資源、広義には専門家等も含んだ多様な資源とのつながりである。ソーシャルネットワークを基盤とした様々な援助のことで、道具的サポートと情緒的サポートなどがある。
気分一致効果	ポジティブ気分時には肯定的な記憶、考えや反応が活性化され、ネガティブ気分時には否定的な記憶、思考や反応が活性化されバイアスを受けやすい。気分が活性化する、動機づけする、情動的基盤になるためである。
妥当性	ある対象について測定する時、その測定において得られるデータがその対象を測定したものとしてどの程度ふさわしいかの程度を指す。内容妥当性、基準関連妥当性、構成概念妥当性などが区別される。
ゲシュタルト要因	視覚において、ものがどのようにまとまって見えるかについての要因のことである。近接の要因、類同の要因、閉合の要因、よい連続の要因、余りを生じさせない要因、共通運命の要因などがある。
アサーション	アサーションとは、自分も相手も大切にしながら、自分の意見や気持ちを伝えるコミュニケーションスキルである。自己表現と相手への配慮を通して相互理解を深め、ストレスを軽減し、良好な人間関係を保てる。
新版 K 式発達検査	新版 K 式発達検査は運動、知能、社会的能力などの領域の発達水準について検査する。検査結果は発達年齢 (DA) として表されるが、発達年齢と暦年齢の比率である発達指数 (DQ) も算出できる。

## 2. 出題意図

心理学全般の基礎的知識、特に用語や概念を正しく理解しているかどうかを確認するため、心理学全般の専門用語に関する選択問題と学部 1 年次の心理学の授業で学ぶレベルの記述問題を出题しました。

研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・社会人・社会人（協定）・留学生・APU
試験科目 /Exam Subject	専門
実施日（試験日） /Exam Date	2025年9月13日

解答又は解答例及び出題意図  
 Answer or example of answer  
 Intent of the question  
 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)  
 (Reasons for not publishing exam questions)

**【心理学共通】**

1. 解答又は解答例

**【A】**

(1)	3.	(2)	4.	(3)	1.	(4)	4.	(5)	1.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(6)	4.	(7)	3.	(8)	2.	(9)	2.	(10)	4.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----

(11)	1.	(12)	2.	(13)	1.	(14)	4.	(15)	3.
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

**【B】**

出題	解答例
相貌失認	人の顔の認知が困難となる異常や障害のことで、顔から人物を特定できない、性別、年齢、表情を区別できないなど様々な異常が認められる。
潜在記憶	意識的に思い出すことなく、無意識に/無自覚的に認知や行動に影響する記憶であり、無意識下で機能するプライミング現象を引き起こす。
マザーリーズ	母親(養育者)が乳児に話かける際、声の高さが高くなり、抑揚が誇張されるなどの特徴がみられる。このような特徴をもつ語りのこと。

自己中心語	幼児の発話においてみられる、社会的な目的のない独り言のこと。ピアジェはこれを自己中心性の現れと考えたが、ヴィゴツキーは外言から内言への移行期にみられる現象であると考えた。
孤独感	孤独感とは、個人の社会的ネットワークが、量的あるいは質的にある重要な点で不足しているときに生じる不快な体験で、疾病や死亡リスクなどを増加させる。客観的な状態である（社会的）孤立とは区別することが多い。
アクションリサーチ	研究者と一緒に個々の問題の当事者が、現実の問題を解決することを目指した、または、目標となる望ましい状態に向けて変革していくことを目指した実践と研究である。レヴィンが体系づけて提唱した。
実験におけるデブリーフィング	実験終了後に参加者に対して実験の真の目的や仮説について説明することである。実験にディセプションが用いられた場合にはその理由について真摯に説明を行う。参加者の研究倫理上の保護が主な目的である。
無意識的推論	ヘルムホルツが提唱した知覚に関する重要な洞察で、人間の知覚は単なる感覚の受動的な受容ではなく、推論に似た高次の過程を経て成立すると考える。ただし、その過程は意識されることなく自動的に行われるとする。
アウトリーチ	コミュニティ・アプローチの一環である。対象者の居る場所に出向いて働きかけること。自ら支援を要請するのが難しい人、サービス利用に不安を抱く人などを支援でき、予防活動と一緒に進めば地域づくりにもつながる。
風景構成法	中井久夫によって考案された芸術療法・投影法の一つである。A4 サイズの画用紙に、指示されたアイテム（例：川、山、家など）を順に描いていくことで、クライアントの心理的特徴や状態を読み取る技法である。

## 2. 出題意図

心理学全般の基礎的知識、特に用語や概念を正しく理解しているかどうかを確認するため、心理学全般の専門用語に関する選択問題と学部 1 年次の心理学の授業で学ぶレベルの記述問題を出題しました。

## 【心理学（心理学、心理学研究法）】

### 1. 解答又は解答例

- (1) 平均値等化法：記憶力テストの得点を平均した場合、A組とB組とが等しくなるように配分する方法。対等化法：記憶力テストの測定値が等しい被験者をペアにして、ペアの片方をA組に配分し、もう片方をB組に配分する方法。両組で平均値は自動的に等質になる。
- (2) 測定時期が被験者内要因である。授業の実施前、実施中、実施後という3つの水準から構成されている。
- (3) 残差分析を使用できる。残差とは観測度数と期待度数の差である。残差が一定以上の値であれば、そのセルの観測度数は大きい（または小さい）とすることができる分析である。
- (4) 散布図を描く目的は、二つの変数間の相関・予測が直線的であるかどうかをチェックするためである。相関・予測の分析は直線相関と一次方程式の予測を前提としているからである。直線性が見出せない場合は、2変数の一方を対数変換するなどの対処することになる。

### 2. 出題意図

心理学のさまざまなテーマへのアプローチにおいて必要となる科学的思考力を問う問題、実験法、観察法、調査法、検査法、面接法、コンピュータ・シミュレーションなどの心理学のさまざまな研究法について、基礎的理解を問う問題を出題しました。

## 【臨床心理学（心理療法、心理検査）】

### 1. 解答又は解答例

1.

- (1) ①新版 K 式 ②遠城寺式 ③発達年齢 ④発達指数 または DQ ⑤フィードバック
- (2) 発達検査は、子どもの発達水準を基準年齢と比較して数値化し、発達の遅れや偏りの有無を把握することで、発達障害やつまずきの早期発見につなげるために用いられる。こうして得られた情報は、子どもの特性に応じた支援計画を立案するための基礎資料となり、保育・教育・医療など多職種との連携においても共通言語としての役割を果たす。一方で、検査結果は検査時の体調や緊張、家庭環境、文化的背景などの影響を受けやすいため、得点のみから発達の遅れを断定することには慎重であるべきである。そのため、検査に取り組む様子や検査者との関わり、保護者からの聴取など複数の情報源から総合的に理解することが求められる。また、子どもの発達には個人差が大きく、一時点の検査に過度に依拠することなく、その後の経過や環境の変化も含めて柔軟に支援を検討する視点も重要である。

2.

動機づけ面接は、Miller, W. R.と Rollnick, S.によって開発された、クライアント自身が変わるための動機づけを高め、行動変容を支援するための対話的アプローチである。その根底には「スピリット」と呼ばれる基本姿勢があり、協働・受容・思いやり・エンパワメントをクライアントとの対話を通じて実践することが求められる。動機づけ面接では、専門家が一方的に助言を行うのではなく、クライアントとの対等な関係を築き、変化への意欲を引き出すことが特徴である。特に、変化したい気持ちと現状維持を望む気持ちが同時に存在する両価性に焦点を当て、変化に向かう発言であるチェンジトークを強化することを目指す。チェンジトークを引き出す対話の技法としては、開かれた質問、是認、聞き返し、サマライズ、許可を得ての情報提供と助言の5つがあり、このうち4つめまでのスキルはOARSと呼ばれ、動機づけ面接の基本的なカウンセリングスキルである。

## 2. 出題意図

代表的な心理療法あるいは心理的援助に関する基礎的知識について問う問題、心理的アセスメントに関する基礎的知識について問う問題を出题しました。

### 【実践人間科学】

#### 1. 解答又は解答例

- (1) 障害があつて生きること、そして障害者の家族であることは、現在の日本では、様々な社会的不利をこうむり、人生設計の変更を余儀なくされる要因となる。特に母親にとっては、性別役割分業規範と結びつき、自分の生活や人生は脇においてケアの専従者となることが求められる。障害のある子どもをケアする母親には、通常の親としての役割をこえ、介助者として、準専門家として、コーディネーターとして、代弁者としての役割を担うことが社会的に要請される。障害者本人のみならず、家族にも同年代の人と同等の生活を保障するという“家族のノーマライゼーション”の観点から制度を整備することが求められる。
- (2) 現代日本における「家族のノーマライゼーション」を阻害するような課題の一つとして、介護離職が挙げられる。これは、高齢者の介護を担う家族が、もともと勤めていた仕事と介護を両立することが難しくなって離職することである。介護休暇の制度は存在するが、取得できる日数が限られていることが一般的である。

子どもの育児の場合は、一定の年数が過ぎれば子どもが成長して手がかからなくなり、また、そのことを見通せるため、親自身も職場の側も働き方を調整しやすい。しかし介護の場合は、いつ頃どれだけの介護が必要になるか、いつまで続くか、見通しが付かないため、介護が長期間に及べば及ぶほど、働き方の調整が困難になる。

介護離職は、離職した本人にとって経済的困難に直結する。介護している高齢者が

亡くなった後も、仕事を再び得ることが難しければ、本人の老後に至るまで経済的に不安定な状態を生き続けなければならないことになる。また、未婚者が介護離職した場合、収入がないことによって、結婚を望んでも実現しづらいという現象が起きている。

高齢者を介護する家族が同年代の人と同等の生活が送れるような制度を作ることには、介護を受ける高齢者にとっても後ろめたさを感じずに家族と暮らせることにつながり、家族としての幸せにつながってゆくと考えられる。

## 2. 出題意図

人間にかかわる問題を主体的に発見する力、理論と実践を相互還流させてとらえる論理展開力を捉える力を問う問題を出題しました。

研究科 /Graduate School	人間科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人間科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・社会人・社会人（協定）・留学生・APU
試験科目 /Exam Subject	専門
実施日（試験日） /Exam Date	2026年2月11日

解答又は解答例及び出題意図  
 Answer or example of answer  
 Intent of the question  
 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)  
 (Reasons for not publishing exam questions)

**【心理学共通】**

1. 解答又は解答例

**【A】**

(1)	1.	(2)	2.	(3)	4.	(4)	3.	(5)	1.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

(6)	4.	(7)	2.	(8)	2.	(9)	4.	(10)	1.
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----

(11)	2.	(12)	4.	(13)	1.	(14)	3.	(15)	2.
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

**【B】**

出題	解答例
無意味綴り	Ebbinghaus, H.が考案した記憶研究で用いる意味がない刺激。2つの子音の間に母音をはさむ3文字からなる人工的な語で、個人の知識や経験などの影響を排除して記憶処理過程を調べることを可能とした。
半側空間無視	脳損傷によって生じる空間的注意の障害であり、損傷の反対側空間にある対象に気づかない症状をいう。右脳損傷による左半側空間無視の症例が大半で、右半側空間無視はほとんど見られない。
対象の永続性	何か目の前にある物が、移動や遮蔽によって見えなくなったとしても、その対象は存在し続けているという認識。Piaget, J.は感覚運動期の8-9か月頃からこの認識が成立することを

	発見した。
ギャングエイジ	ギャングエイジとは、子どもが、友達との自発的な集団行動を重視し、仲間意識や社会性を育む、小学校中学年頃(9歳頃)の年代(発達段階)を指す。
ソマティック・マーカ一仮説	ソマティック・マーカ一仮説とは、Damasio らにより提案され、意思決定において情動的な身体反応が重要な信号を提供するという仮説である。その処理において腹内側前頭前野が重要な役割を果たすとされる。
構成概念妥当性	測定される概念について、理論的に関連する他の概念との関連性を実証的に検討することによって判断される妥当性のことである。収束的妥当性、弁別的妥当性、因子妥当性などがその要素となる。
両眼立体視	視覚における奥行き知覚の一種。ヒトの両眼は水平に約6cm 離れているため、それらの網膜像にはずれ、両眼視差あるいは両眼網膜像差が生じる。その情報を活用した奥行き知覚を両眼立体視と言う。
研究倫理	研究者が社会との関係において研究をする上で守るべき規範。具体的には、社会的公正さ、責任性、誠実性、協力者の人権の保護などがある。具体的には、プライバシーの保護、インフォームド・コンセントなどがある。
心的外傷後成長	トラウマティックな体験や困難な経験からポジティブな変化が起こること。つまり、トラウマを乗り越えることで、人間関係や自己認識が深まり、個人が成長することを意味する。
TAT (主題統覚検査)	Murray,H.A.らによって考案された投影法の一種。被験者に絵を見せ、その絵の内容を自由連想で物語にするという方法で、性格や行動傾向を明らかにする。被験者の感情や葛藤を言葉にすることで、自己理解を深めるのにも役立つ。

## 2. 出題意図

心理学全般の基礎的知識、特に用語や概念を正しく理解しているかどうかを確認するため、心理学全般の専門用語に関する選択問題と学部1年次の心理学の授業で学ぶレベルの記述問題を出题しました。

## 【心理学（心理学、心理学研究法）】

### 1. 解答又は解答例

- (1)  $\alpha$  係数（クロンバックの  $\alpha$  係数）は、複数の質問項目から構成される尺度の信頼性を示す指標であり、特に内的一貫性を示す指標である。
- (2) 独立変数：運動に対する自律的動機づけ  
従属変数：部活動への適応感  
調整変数：主将のリーダーシップ
- (3) ④
- (4) 「標本誤差」とは、標本分布の標準偏差のことである。回収率が低く、回収数が少なければ標本誤差は大きくなり、標本から得られた回答に偏りが生じる傾向がある。例えば、今回の調査において、ある特定の部で回収率が特に低くなっている可能性があり、その場合、回収された標本からの回答に偏りが発生している危険性があることになる。

### 2. 出題意図

心理学のさまざまなテーマへのアプローチにおいて必要となる科学的思考力を問う問題、実験法、観察法、調査法、検査法、面接法、コンピュータ・シミュレーションなどの心理学のさまざまな研究法について、基礎的理解を問う問題を出題しました。

## 【臨床心理学（心理療法、心理検査）】

### 1. 解答又は解答例

- (1) 偏差知能指数 (DIQ) は、同年齢集団の得点分布を基準とし、平均を 100、標準偏差を 15 とし、集団内における平均値からのずれ (偏差) を示す指標である。これに対し、従来の知能指数 (IQ) は精神年齢 (MA) を生活年齢 (CA) で割って算出するため、精神年齢の変動が少ない成人期では、年齢が上がるにつれて IQ が低下しやすいという課題があった。偏差知能指数の利点は、年齢集団毎の得点分布を基準とするため、年齢による歪みや発達段階の違いの影響を受けにくく、異なる年齢層間での比較や経年変化の把握がしやすい点である。また、個人が集団内でどの位置にいるかという相対的な知能水準を客観的に評価できるという特徴がある。
- (2) ①オンラインカウンセリングの最大の利点は、地理的・身体的な制約を受けにくいことである。遠方に住む人や移動が困難な人、災害時や感染症流行時など外出が困難な状況でも利用でき、支援を継続しやすい。また、自宅など安心できる場所で相談できるため、初回利用の心理的ハードルが下がり、匿名性の高さも相談への敷居を下げている。これにより、相談機関への訪問に抵抗がある人にも支援の機会が広がっている。  
②一方で次のような課題が存在する。まず、表情や身振りなどの非言語的情報が制

限されるため、クライアントの微妙な心理変化を捉えにくく、治療同盟や信頼関係の形成に難しさが生じやすい。また、緊急時に正確な居場所の把握が難しく、迅速な対応が困難な場合がある。さらに、通信障害やプライバシー確保の難しさ、家庭内の雑音や同席者の存在など、安定した相談環境を整えにくいことも課題である。

③実践上の工夫として、まずはインフォームド・コンセントの際に、オンラインカウンセリングの特徴や限界、情報通信技術の安全性やプライバシーの確保、記録の管理方法などについて、対面よりも丁寧に説明し、クライアントの十分な理解と同意を得ることが重要である。特に、通信障害発生時の対応方法や、遠隔支援ならではのリスクについても事前に説明し、相談開始前に合意しておく必要がある。

また、緊急時の対応についてもオンラインカウンセリングの特性を踏まえた準備が不可欠である。例えば、支援開始時にクライアントの所在地や連絡先、居住地域の医療・福祉機関を事前に把握しておくことや、協力を要請できる第三者を決めておくなど危機的状況が生じた場合の対応手順についてあらかじめ合意しておくことが挙げられる。

その他、相互に表情や非言語的なサインが確認しやすいよう、可能な場合はカメラを常時オンにし、第三者が同席しない静かな環境を確保してもらうなどの工夫も有効である。必要に応じて対面支援や他機関との連携に切り替えるなど、クライアントの状況や希望に応じて柔軟な支援を選択することが求められる。

## 2. 出題意図

代表的な心理療法あるいは心理的援助に関する基礎的知識について問う問題、心理的アセスメントに関する基礎的知識について問う問題を出题しました。

### 【実践人間科学】

#### 1. 解答又は解答例

- (1) 日本に住んでいる外国人は、日本人に比べて男女ともに2割以上も死亡率が高く、外国人と日本人の間には明らかな健康格差が生じている。現在では医療機関を訪れる外国人の大半が健康保険に加入しているにもかかわらず、格差は解消する気配がない。その原因には、外国人特有の問題である言葉の障壁が大きく影響している。親の病気のために子どもが学校を休んで通訳をしに行くが、訓練を受けていない、語彙が不十分な子どもの通訳では誤解も生じやすい。一方、アメリカや豪州では政府が医療通訳制度を整えており、医療機関に医療通訳の利用を義務づけている。日本でも医療通訳者を育てるような仕組みを整えていくことが求められる。
- (2) 健康格差はライフスタイルや環境、保健医療の違いによって起こる。特に現代日本においては、収入がもたらす健康格差が問題となっている。収入が高い人たちのほうが、1日の野菜摂取量が多く、習慣的に喫煙している者の割合が低く、うつ病罹患率

が低く、健診未受診者の割合も低い。また、教育年数が短い人たちのほうが、健診未受診者の割合が高い。

統計的にはこのような事柄が健康格差の要因として挙げられるが、実際にはこれは問題の上辺だけを説明しているにすぎない。野菜摂取量については、収入が低ければ安価な炭水化物に頼らざるをえず野菜摂取量が低くなるという説明が付く一方、たばこには税金が高くかけられており、収入が高い人のほうが喫煙率が高いというほうがつじつまが合うためである。なぜ収入の低さが喫煙率の高さに結びついているのか、統計だけでは説明できない。

そこで、生育環境とそこから身に着けたハビトゥス（習慣化された行動様式）という要因から論じることが有効になる。生まれ育った家庭環境、あるいは就職して入った職場環境の中で、喫煙がごく自然なことであり、むしろ喫煙しないほうが人間関係の構築に支障が出るなど不利益があるとすれば、喫煙するほうがその人にとって自然であるし利益にもなる。このように身近で習慣的な、小さな行動ひとつひとつの積み重ねが、健康格差に結びついているのである。

## 2. 出題意図

人間にかかわる問題を主体的に発見する力、理論と実践を相互還流させてとらえる論理展開力を捉える力を問う問題を出題しました。